

48. 民族音楽で外国の文化を知る

小学校出前授業「スーホの白い馬と馬頭琴」

グループ名 下津 DHC クラブ

代表者名 梶 本 博 司

① 活動目的

小学校の教科書にモンゴル民話「スーホの白い馬」が掲載されています。しかし、日本では、モンゴルの民族音楽はあまり知られていません。そこで、この機会を捉えて、モンゴル人による馬頭琴の生演奏やモンゴルの話を聴くことで、風土や人を実感し、より深い学習効果が得られると考えています。そして、子どもたちの心に残る授業になることを願って実施したいと思えます。さらに、このことがきっかけとなり、多様な文化の存在を認識し、子どもの意識の中に国際理解や異文化交流の意識が芽生えることを期待しています。

② 活動概要

・活動の動機

町の活性化を目的に毎年開催するコンサートで、ユネスコ無形文化遺産の馬頭琴に出会い、モンゴル人演奏家の奏でる優しい音色に触れ、より多くの人にモンゴル民族音楽を紹介したいと思っていたところ、小学校 2 年生の教科書にモンゴル民話「スーホの白い馬」が取り上げられていることを知りました。その後、モンゴルから演奏家を招聘しコンサートを開催した折、地元小学校へ出前コンサートを行い、全校生徒に聴いて頂きました。以来、出前コンサートは、先生方の高評価も得て継続して取り組んでいます。

・活動の内容

授業の一環（45 分）として実施。子どもたちの質問等を交えながら、日本モンゴル文化経済交流協会 会長 佐藤紀子氏によるモンゴル国の紹介。続いて、生演奏を聴く機会の少ないモンゴル民族楽器「馬頭琴・ホーミー・リンベ（横笛）」等の演奏を M. サウガゲレル氏と S. バトスレン氏のプロ奏者が、民族衣装を着て、日本の曲も交え演奏しました。

※当初、実施校は 3 校を予定。しかし、先生のご要望により 2 校追加しました。

M. サウガゲレル（リンベ（横笛）・ホーミー）

モンゴル国立音楽舞踏学校・モンゴル国立文化芸術大学にて、リンベ及びホーミーを学ぶ。04 年来日し、モンゴル国の伝統芸術を紹介・普及させるため、日本各地でコンサートを行う。10 年モンゴル国から「文化芸術功労賞」受賞。

S. バトスレン（馬頭琴・ホーミー・オルテイン ドウ）

ウランバートル文化芸術大学で馬頭琴を学ぶ。現在、大阪を中心に演奏活動を行う。

実施日・場所

平成27年1月27日（火曜日）

学 校 名	対象者（人数）	場 所
和歌山市立砂山小学校	2年生（45人）	ランチルーム
和歌山市立芦原小学校	1・2年生（15人）	音楽室

平成27年2月16日（月曜日）

学 校 名	対象者（人数）	場 所
海南市立大野小学校	1・2年生（87人）	音楽室
海南市立内海小学校	2年生（25人）	音楽室
和歌山市立雑賀小学校	2・4年生（280人）	体育館

・活動の効果

実施時期が、モンゴル民話「スーホの白い馬」を学習する時期に合わせていたため、「2年生は、コンサートで、実際に馬頭琴の音を聴いたことで、内容をより理解し、深まりある学習となっています。」と指導する先生からも手紙を頂きました。また、子どもたちからも感想文を頂き、音が重なるホーミーは理解しにくいか と思っていましたが、予想を超える反応で、子どもたちの感性に驚いています。今後もこの活動を続けていく価値を実感し、継続していきたいと思います。

より多くの子どもたちに、異文化に触れる機会を提供することで、国際理解への一歩につながることを願っています。

③収支決算書

単位：円

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
	合 計	100,000
支出	モンゴル日本文化経済交流協会 出演料（交通費込み）	120,000
	合 計	120,000
差引額	クラブ会計から補填	20,000

④活動写真



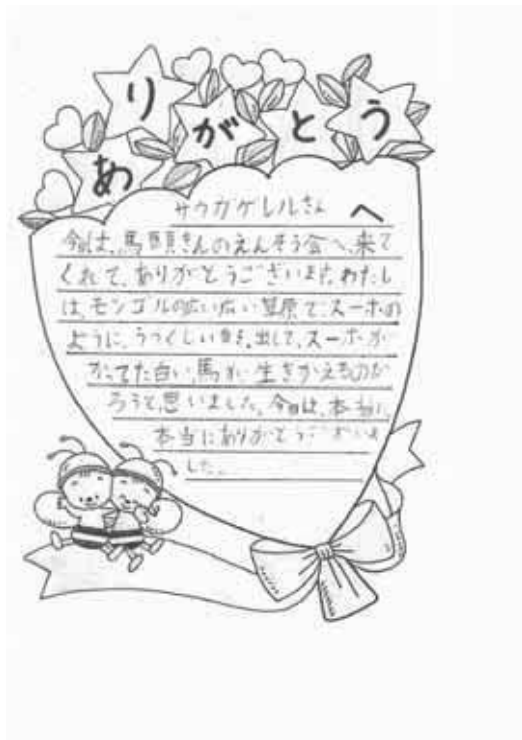
音楽室にて演奏



体育館にて



子どもたちからのお礼



わかやま新報 平成 27 年 2 月 21 日掲載

2015年(平成27年)2月21日(土曜日) (2)

モンゴル音楽を楽しむ

小学校で異文化コンサート

和歌山、海南各市の小学校で16日、モンゴル民族音楽の出前コンサート「スーホの白い馬と馬頭琴」が開かれた。下津日CCクラブ(梶本博司会長)が公益財団法人大同生命厚生事業団の助成金を活用し「コーディネート」した。子どもたちは異文化に楽しくふれ、楽器「馬頭琴」の音色や独特の歌謡法「ホーミー(喉歌)」による歌謡に心を躍らせた。

和歌山市の雑賀小・大野小に開かれた。学校(森田啓子校長)・同校ともに、日本モンゴル文化経済交流協会(会長)と協力して280名の子供らを集めて開催された。

長がモンゴルについて写真と話を紹介した。雑賀小の山田桃さん(5)は「馬頭琴の音がとてもいい」と感動を述べた。大野小の山田桃さん(5)は「馬頭琴の音がとてもいい」と感動を述べた。

2年生は異国でモンゴルの民謡「スーホの白い馬」を学んだ。雑賀小の山田桃さん(5)は「馬頭琴の音がとてもいい」と感動を述べた。

大野小の山田桃さん(5)は「馬頭琴の音がとてもいい」と感動を述べた。

森田啓子校長(左)と梶本博司会長(右)の演奏に聞き入る児童(大野小)